

## 自己評価報告書

平成23年 3月 31日現在

機関番号：14602  
研究種目：基盤研究（A）  
研究期間：2008～2011  
課題番号：20242018

研究課題名（和文）歴史における周縁と共生—疫病・触穢思想・女人結界・除災儀礼—  
研究課題名（英文）Historical periphery and its harmonic coexistence: in Relation to epidemic, taboos, misogynous boundaries and the tradition of purifying rituals

研究代表者 鈴木 則子（SUZUKI NORIKO）  
奈良女子大学・生活環境学部・准教授  
研究者番号：20335475

研究分野：歴史学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本史・医療史・女性史・ジェンダー・国際研究者交流・アメリカ合衆国

### 1. 研究計画の概要

（1）男女の生理的・身体的差異、特に女性の出産や月経に伴う身体性が穢と意識されて女性の地位の周縁化にどのような影響を与えたかを明らかにする。具体的には感染症や出産、尼、遊女、祭礼などを取り上げて、広く事例を分析する。

（2）上記の意識がその後も女人結界や女人禁制に帰結していった歴史の実態を明らかにする。

### 2. 研究の進捗状況

#### （1）アンケート調査

初年度に、疾病・出産・葬送・祭礼と穢れに関する習俗について、アンケート調査を行った。

#### （2）現地調査

全国各地の現地研究者の協力を得て、九州・山陽・山陰・北陸・近畿・中部・関東・東北の、様々な穢れに関わる習俗の事例を調査してきた。調査にあたっては地元の方々への聞き取りや、地方史研究者などとの学術交流も行った。

#### （3）研究会

分担研究者・連携研究者・ゲストスピーカーによる研究報告会を重ね、感染症・出産・宗教・祭礼などと女性差別の問題について討議をすすめてきた。研究開始当初は血穢へ注目して研究を進めてきたが、感染症にもジェンダーやバイヤスが影響した病気観があることや、母乳にも穢れ意識が関与していることなど、女性の身体的穢れは血穢に収斂しきれない問題をはらんでいることが明らかになってきた。現在、さらに多角的に検討を重

ねることで、女性の歴史的な穢れの多様性を明らかにすることをめざしている。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

その理由は、各地の女性の穢れに関わる事例調査を、現地研究者の協力を得て行った。研究会についても、分担研究・連携研究者ほぼ全員が研究報告を行うとともに、関連分野のゲストスピーカーを招いて通算13回行い、研究討議を重ねてきた。これらの研究成果は、計13回にわたりニューズレターを発行することを通じて、細かに総括を重ねてきた。現在は最終報告書作成をめざして研究集約に入る体制にある。

### 4. 今後の研究の推進方策

（1）北海道と四国地域の習俗に関する女性史の視点からの調査を、現地研究者との協力を得て行う。

（2）個々の研究成果を全体で共有するために、夏に研究報告会を開催し、そこでの討議をもとに、各自で研究成果を集約した論文の執筆を行い、三月末を目処に報告集を作成する。

（3）研究成果を専門外の人にアピールするための、研究ダイジェスト映像を作成する。作成は連携研究者である栗山茂久教授（ハーバード大）に依頼。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計12件)

- ① 平雅行《現代都市を生きる感性と歴史学》《人民の歴史学》《査読無し》《176号》《2008年》《1-13》
- ② 平雅行《中世仏教における呪術性と合理性》《国立歴史民族博物館研究報告》《査読あり》《157集》《2010年》《1-27》
- ③ 梅澤ふみ子《18～19世紀日本における参詣の流行と霊場の発展》《東アジア宗教文化研究》《査読あり》《創刊号》《2009年》《165-196》

[学会発表] (計12件)

- ① 梅澤ふみ子《18～19世紀日本における参詣の流行と霊場の発展—恐山の場合》《アジア宗教文化学会創立記念国際学術大会》《2008年8月2日》《韓国プサン東儀大学校》
- ② 梅澤ふみ子《Concept of World Renewal in the Cult of Mt.Fuji:Influence of Yin-yang Theory over folk beliefs》《仙&道国際学術大会》《2009年10月24日》《高麗大学》
- ③ 鈴木則子《Medicine and Media in 19th Century Edo》《平成21年度総研大国際シンポジウム》《2009年12月16日》《湖南国際村センター・神奈川県》
- ④ 鈴木則子《江戸時代の医学書にみる結核観の変遷》《日本医史学会》《2010年6月12日》《茨木大学》
- ⑤ 鈴木則子《徳川綱吉の麻疹と幕府の麻疹感染予防策について》《日本医史学会関西支部》《2010年11月7日》《京都市国際交流会館》

[図書] (計10件)

- ① 鈴木則子 《明石書店》《生活と福祉》《2010年》《18～45ページ》